

上期の業績について

2026年2月期中間期の連結業績は、売上高317億円、営業利益11億円、中間純利益9億円となり、前年同期比で増収増益となりました。

今期よりスタートした中期経営計画「Create Future with Passion」の中で軸に据えた「既存卸売ビジネス(B to B)の強^{きょうじん}韌化」に社員一人ひとりが真摯に取り組み、世の中から「欲しいと思ってもらえる」商品を生み出し続けている結果だと考えています。

誰でも作れる商品であれば、当社が作る必要はありません。当社だから提供できる価値は何なのかを考え続けることが、消費者の皆さまが思わず店頭で手に取りたくなるような特色のある商品を生み出す源泉であると考えます。

蒔き続けた“ものづくり”の種

私が10数年にわたり、諦めずに言い続けたのは「ものづくりの原理原則を知らなければ“良い物”は作れない」ということです。私たちは商社です。自社で生産機能をほとんど持たないからこそ、自分たちが作りたい物を形にするためには原理原則を誰よりも学び、知識を身に付け、作って

くださる仕入先さまと対等に“ものづくり”を語れる必要があるのです。

苦しい時間が長く続きましたが、苦しい中だからこそ各々が原点に立ち返ることができたのではないかと考えています。これまで蒔いてきた種がしっかりと芽吹いてきたのを実感しています。

外からの力ではなく、自分たちの力で立ち上がったという事実が、私たちの大きな自信になり、さらに成長しようという原動力になっています。

私たちの変化はこれだけではありません。固定観念にしばられない若い社員が中心となって、長年打ち破れなかった縦割り組織の壁を越えた取り組みがいくつも生まれ、これまで見られなかった化学反応が起きています。

すべての変化を起こしているのは「人」である。改めてそう実感する毎日です。

一步一步着実に未来へ

世の中の変化のスピードはますます速くなり、10年後、20年後に世界がどうなっているかは誰にも予想できません。だからこそ、足元をしっかりと固めて、一步一步着実に歩むことが必要です。目標を掲げることはもちろん重要ですが、天ばかり見ては進むべき方向を誤ります。あくまで一步一步

を積み重ねた結果、振り返ってみた時に自分の足跡が道となって目標の達成につながっている、そのような成長を目指したいと考えています。

株主の皆さまにおかれましては、引き続き伴走しながら私たちの成長を見守り続けていただければ幸いに存じます。

代表取締役 社長執行役員
滝 一夫

「人」こそが未来を創る主役
“ものづくり”の原理原則が次なる成長への原動力